

「JAグループ鳥取自己改革への取り組み」と「協同組合再考」

○はじめに

一昨年は、国際協同組合年で、協同組合の存在意義が改めて見直されました。今年は一転して政府・与党から農協改革を求められる中、JAグループの自己改革を検討することとなりました。

こうした中、わたしたちの組織体を再認識するとともに、将来に向けた魅力ある組織をめざすため、「自己改革への取り組み」「協同組合とは何か」をテーマに連載します。

【9月編】協同組合とは何か

○協同組合の誕生（経緯）

協同組合が生まれたのは、資本主義社会になってからです。貨幣経済が発達すると、農民が自分たちの営農と生活を守るため、相互に資金を融通し合い、業者の不当な利益を抑えるために、共同で販売したり共同で購入したりする組織を自らつくるが必要になりました。

○協同組合とは何か（定義）

協同組合は、人々が自主的に結びついた自律の組織です。また、組合員が共同で所有し民主的に管理する事業体を通じて、組合員共通の経済的・社会的・文化的なニーズに応える組織です。

○協同組合らしさとは何か（価値）

協同組合が大切にしてきた基本的な理念であり、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、連帯があげられます。また、倫理的な価値として、正直、公開、社会的責任、他者への配慮があげられます。

○協同組合と株式会社との比較

| | 協同組合 | 株式会社 |
|--------|--|--|
| 目的 | 組合員の生産と生活を守り向上させる（組合員の経済的・社会的地位の向上、組合員および会員のための最大奉仕）。【非営利目的】 | 利潤の追求【利益の追求】 |
| 組織者 | 農業者、漁業者、森林所有者、勤労者、消費者、中小規模の事業者など【組合員】 | 投資家、法人【株主】 |
| 事業、利用者 | 事業は根拠法で限定、事業利用を通じた組合員へのサービス。利用者は組合員。 | 事業は限定されない、利益金の分配を通じた株主へのサービス。利用者は不特定多数の顧客。 |
| 運営者 | 組合員（その代表者） | 株主代理人としての専門経営者 |
| 運営方法 | 1人1票制（人間平等主義に基づく民主的運営） | 1株1票制（株主による運営支配） |